

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター歩路				公表日	令和7年2月25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の実態や人数に応じて、過ごす場所を検討し、対応しています。 ・レイアウトを適宜調整し、特性にあった環境設定を実施しています。 ・パーティションから壁になったことで安全に過ごせていると思います。ただ、扉を開けようとする子どもが多いので、開かないように工夫が必要だと思います。 ・利用人数に応じて教室の変更をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員数に対して、十分なスペースを確認しています。引き続き、実態や活動内容に応じた活動スペースの確保を行います。 ・扉については、引き続き安全面への配慮ができるようチーム内で検討し対応します。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より多い職員配置なので色々な場面で余裕があります。 ・職員が必要な際には職員間で声掛けし、臨機応変に対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置基準を満たし、運営を行っています。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども用のトイレが少ないと感じる時があります。2階の大人用トイレ（多目的トイレ以外）にも子ども用補助便座があるとより使いやすと思います。 ・視覚支援や写真が多く使われ、分かりやすいと思います。 ・触ってはいけない場所には視覚支援でわかりやすく示しています。 ・活動に集中できるように、療育室内は子どもの視線に対して必要のないものは置いていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もお子さまの実態や状況に応じ、療育室を仕切ったり、視覚支援を取り入れたりしながら丁寧な支援に努めます。 ・幼児トイレについては便座2つ、立位便座2つが設置されています。現在、状況に合わせて多目的トイレも活用しています。2階のトイレについては、利用状況により幼児用補助便座の設置をチームで検討します。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、必要なタイミングで消毒が実施されています。 ・掃除は行き届いていない箇所もあるため、自分も気づいたら清掃するようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育前の室内の確認、引き続き、安全に過ごせるよう環境作りに努めます。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも個別対応ができるので良いと思います。 		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・どの職員も目標設定と振り返りがあり、良いと思います。 ・職員間で業務量の把握や業務を進める時間を作るようにしています。 ・チーム会議やクラス会議、また日々の報告がしっかり行われており職員間で連携できています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に全職員、各自の目標を設定し、上司同席のもと定期的な振り返りを行い、支援の質の向上に努めています。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見は反映していると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本アンケートを通して把握した内容については、事業所内でも情報共有します。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・希望すれば上司と面談できるのが良いと思います。 ・ミーティング、クラス会議やチーム会議で共有する場を設けています。 		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より保育所等訪問支援についても、訪問先施設から評価をいただいています。 ・察げていると思いますが、現場まで共有はないのかなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本アンケートを通して外部や保護者からの意見につきましては、毎年チーム会議やミーティングの場を活用して、現場職員へ共有しています。 	

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研修の機会が多いため、学びに繋がると思っています。 ・職員会議内の研修、チーム会議内での研修実施しています。 ・他の部署と研修をする機会があり、参考になる事もあり、資質の向上につながっています。 	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムを作成し、公表しています。 	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧にアセスメントを行い、内容を検討して作成しています。 ・保護者へ希望表等も活用し聞き取りを行っています。 ・セラピストと保護者が面談した際にも保護者やお子さまの希望やニーズの聞き取りを行い、現場へ共有しています。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと関わっている職員がケース担当を持つようになり、より個々にあった個別支援計画が作成できるようになっています。 ・支援計画作成会議を実施し、普段の様子を共有した上で計画書を作成しています。 	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度途中からクラスに入る職員が固定され、共有する機会ができたので同じクラス担当の職員には共有できていますが、他クラスは十分に把握できていないです。 ・クラス会議等で支援項目、内容を共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月モニタリングを実施し、日々の支援の振り返りを行い、支援時の様子を記録に残しています。また、個別支援計画に沿った支援が行われているか確認する機会を設けています。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたツールははっきりないと思っています。 ・必要に応じて、セラピストとの個別療育実施し、発達検査等を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてセラピストによる発達検査（新版K式発達検査2022、絵画語彙検査等）を実施し、日々の行動観察を含めアセスメントしています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの担当職員で検討する機会があるので良いと思います。 ・クラスごとに指導案打ち合わせ実施しています。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・どの職員も固定化しないようアイデアを出し合っているといます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、季節の活動も取り入れながら、子ども達の実態に応じた楽しい活動の提供に努めます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・専門職からの助言も取り入れています。 ・内容について職員間で意見交換・検討して作成し、それに合わせた支援をしています。 ・専門的支援計画書作成。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティング時に注意事項等共有できています。 ・チームで受け入れ前に導線や利用者特記を確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、十分な引き継ぎや確認が行える時間の確保に努めます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・療育終了後のミーティング時に共有しています。 		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日誌に記録を残しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、日々の様子や支援の経過について、記録を行います。 	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・チーフや担任職員とよく検討して振り返りや見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達管理責任者や担任が中心となり、参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関と関わる機会を定期的に設けていると思います。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育所等訪問支援や個別支援計画に伴う連携会議等を通して、保育所や認定こども園等と支援内容の共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・夢すこやかファイルの作成を行い、情報共有と相互理解を図っていると思います。 ・移行支援シート作成	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・法人の他事業者や地域の他事業所と研修や関わる機会を設けており、地域全体を良くしようと努めている印象はあります。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・外部研修が多く、学びになると思います。 ・専門職ミーティングの中で支援方法や改善点を共有している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			・こども部会に所属し、会議等へ参加しています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・事業所が、直接、園と関わり交流する機会は設けていませんが、事業所内では発達段階や障害の有無を問わず、友だちと交流する機会を確保しています。	・引き続き、園外療育等の機会や地域の中でお子さまが活動する機会の確保を検討し、支援を行います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・保護者とはこまめに連絡を取り合い、情報共有しています。 ・コドモン(連絡帳アプリ)や必要に応じて電話でやりとりし、日頃の様子や支援内容を共有しています。 ・毎日の送迎でも保護者にその日の子どもの活動内容や様子を伝えている事で理解を深められていると感じています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・親子療育の中で保護者とご家庭の様子や歩路での様子を情報交換している。	・今年度も保護者向けペアレント・プログラムの実施や保護者会を通して学びや保護者同士のつながりを作る機会に繋げています。引き続き、ご家族が安心して子育てや生活ができるよう、サポートを行っていきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に担当者が説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・良く検討して作成しています。	・お子さまの意向についても丁寧に確認した上で、ご家族の意向も含め個別支援計画の作成に努めます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・作成後には必ず、対面または電話にて内容の説明をしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・その都度、丁寧に対応していると思います。 ・必要に応じてセラピストとの面談を提案しています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			・保護者会ときょうだい児支援会を実施し、保護者やきょうだい児が交流する機会を設けています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・その都度迅速に適切に対応できるように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・Instagram等を活用し、活動の様子について発信していると思います。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・厳重に取り扱っています。	・引き続き、個人情報の取り扱いには、十分留意対応します。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・その都度丁寧に対応していると思います。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・法人では、秋まつりやきらきらマルシェを実施し地域の方が楽しめるイベントを実施しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各非常時対応については、今後もう少し短い期間で実践的に職員が周知できたらいいのかなと思います。（自分が少しまだ不安な部分もあるので。）	・毎月1回、さまざまな災害を予想して避難訓練を実施しています。また、地域生活支援センターあさひが丘全体の取り組みとして、防犯訓練も実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・月ごとに火災場所を変更しながら行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・職員同士で共有しています。 ・服薬が必要なお子さまがいる際には、昼食前に服薬の有無について確認し、対応しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギーのあるお子さまがいる場合には、医師の指示書を提出いただき、適切に対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットがあった際には、その時の状況や対応策を記録に残し、全部署へ共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			・職員会議にて虐待防止に関する研修を実施しています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・その文言について、組織的に決定はしていると思いますが、共有はされておらず、記載していないと思います。	・現在、やむを得ず身体拘束を行うお子さまはいません。さまざまな支援の工夫をさせていただいた上でも、どうしても身体拘束を行わなければならない状況がある際には、保護者へ説明し、同意書の承諾を得たうえで対応させていただく流れとなっております。	